

カンボジア便り

残り5カ月で何をしよう、何ができる？

10月中旬、私たちの半年前に来た先輩隊員さんの最終報告会がありました。二年間の活動を終える先輩の発表を聞いている時、「私は最後に何を発表できるんだろう？」と考えていました。先輩たちはもっとこうすれば良かった、と言っていました。私から見ればクメール語も上手で、現地の人々とも広く交流を深めていて羨ましい姿でした。しかし、きっとそれぞれの活動で、大変な部分があったのだと思います。私も活動をする上で良いことだけではなく、大変なこともたくさんあります。このお便りを書いている段階で、日本に帰るまで5カ月となりました。休み無しで活動したとしても19週です。今年から新しく音楽を始める4年生はあと19回しか授業ができません。最後の発表で、私は何を発表できるのかな？何をカンボジアに残せるのかな？と考えながら貴重な残りの時間を過ごしたいな、と気持ちを新たにしました。



あと5かげつとなりまして。やすみなしで活動したとしても19しゅうです。ことしからあたらしくおんがくをはじめる4ねんせいとはあと19かいしかじょうぎょうができません。さいごのはっぴようで、わたしは何をはっぴようできるのかな？何をカンボジアに残せるのかな？と考えながら貴重な残りの時間をすごしたいな、と気持ちを新たにしました。

カンボジアで盆踊り？！

報告会で首都プノンペンに滞在するタイミングで、カンボジアに住む日本人の会主催の盆踊り大会があったのでボランティアとして参加してきました。以前紹介した通り、カンボジアには日本人がたくさん住んでいます。お仕事でご家族と一緒にカンボジアへ引っ越して来る方も多く、そのお子さんは多くが日本人学校という「日本以外の国で日本人が日本の教育を受けるための学校」に通っています。

今回私は、盆踊りの会場にある色々な出店のスタッフとして参加してきました。

「型抜き」という出店のスタッフをしていたのですが、子どもたちが型抜きをして遊ぶ間、たくさん話をしました。カンボジアの人はもちろんですが、意外と日本人にも型抜きをしたことがないという人がいて、大人も楽しそうにチャレンジしていたのが印象的でした。中央の檣で日本の曲で盆踊りをしたと思えば、カンボジアの有名な踊りをカンボジア人スタッフに教えてもらうなど、文化が混ざっていて面白かったです。

楽しむ心は世界共通、そんなことを思った1日でした。

